

NAIS Journal Vol.14 発刊に際して

一般社団法人日本応用情報学会会長

高 弘昇

京都情報大学院大学 教授



現在のビジネス環境は IT 関連技術があらゆる分野に適用、応用されることにより、急速に変化しています。金融サービスでは FinTech, 不動産分野では PropTech, 教育分野では EduTech, インターネットでは CalmTech などの IT 関連技術が応用され、その関連ビジネスが幅広く展開されています。特に、Internet of Things (IoT) の概念と Giga Net の 5G により第四次産業革命が本格的に展開する状況に置かれており、企業はその対応に追われています。このような IT 関連技術は一層激しいビジネス競争環境を生み出しているため、企業では競争優位に立つための関連人材の確保、関連 IT 技術の確保、関連ビジネス情報の獲得などが必要になっています。

一般社団法人日本応用情報学会 (Nippon Applied Informatics Society; NAIS) は各分野で応用されている IT 関連技術の発展のため、日本国内で専門誌の発行、IT 関連セミナー開催などの多様な活動展開を通じて情報技術の普及に貢献するだけでなく、実学志向的な実践団体としての産学学会としてその役割を果たしてきました。それとともに、日本応用情報学会は、実務系団体と緊密な連携を持ちながらデータ分析を中心としたデータサイエンス関連などの技術開発活動を行い、グローバルビジネス環境において企業が必要とする実学志向的な人材育成に力を入れてきました。また、情報技術を取り巻く実学志向的なビジネス環境において役に立つ有用な情報を関係研究者、技術者などに発信すると同時に、産学専門家が研究開発し実装した成果物を関係する多くの人々に示す場を提供するため、専門誌である NAIS Journal を産業界に積極的により幅広くオープン化してきました。特に、NAIS Journal はこのような趣旨に沿って様々な IT 分野で活躍し、貢献している産学研究者たちの研究成果も集めて発刊しています。

日本応用情報学会はこれからも各分野における実学志向的な応用情報技術に関わる多様な活動の内容及び成果物を、産学学会としてウェブサイトと NAIS Journal を通じて多くの関係者に発信し有効的に共有していきます。また、研究・実践活動で発生しうる様々な応用情報技術課題に対応可能な関連情報を積極的に発信し続けていきたいと考えています。

今後も日本応用情報学会は IT 及び関連技術によって生み出される応用情報技術により、急速に変わり続ける厳しいビジネス環境において企業が競争力を身に付け成長できるようにデータサイエンス、第四次産業革命に関わる関連人材育成、応用情報システムの研究、開発及び実践に貢献していきたいと考えております。